

3

下村脩名誉博士 顕彰記念館

2008年に緑色蛍光タンパク質(GFP)の発見などの功績が認められノーベル化学賞を受賞した下村脩博士は、旧制長崎医科大学附属薬学専門部出身で、長崎大学薬学部で助手を務めていた時代もありました。館内には博士の研究成果を学べるパネルや貴重な資料が展示されています。中でも学生たちの興味を引いたのがGFPを応用した織物の光が見られるモニター台。「おお!模様が浮き上がってる!」と盛り上がっていました。



2 古写真展示室

長崎大学が誇る古写真コレクションやグラバー図譜が見学できる展示室。2012年2月からは図書館の改修のため移転の準備に入ります。

2

捕鯨砲とそれを守るようにたくさんの亀がいる池。

男女共同参画推進センター(愛称・おもやいセンター)。教職員が子どもを預けられます。

北門

総合教育研究棟

水産学部

環境科学部

工学部

中部講堂

2 附属図書館

事務局

正門

薬学部

3

今年7月には新しい施設が誕生!!

5

1

教育学部

学内には理容室もあり。「長大カット」1700円!

「カエルが異常繁殖してるんですよ。誰か手入れた方が良さそうですね」

学食から遠い工学部のためにここで弁当が販売される。大人数のお昼ご飯をさばくには、分散させるしかないんですね。

「カエルが異常繁殖してるんですよ。誰か手入れた方が良さそうですね」

「広い敷地内にはベンチも多く、フリースペースもあるのでそんなに人が多く感じではないですね」

「各学部にはリフレッシュルームという学生が自由に使えるスペースがあって、勉強もおしゃべりもできるし」「そう、家のリビングみたい。共用冷蔵庫とかあって」



実家のある大分の友達に自慢なくちゃ!

Cho-dai SaRuKu

キャンパスと街をもっと知ろう
そして誰かを案内しよう
長崎大学さるくプロジェクト、絶好調!

長大さるく

長崎大学のキャンパスとその周辺を、学生目線でウォッチングしながらまち歩きをする「長大さるく」。

家族や友達が遊びに来た時案内できるよう、自慢のポイントや見どころをみんなで探します。

毎日過ごしているキャンパスも、あらためて見直してみると新たな発見がいっぱい。

今号は文教キャンパスとその周りをご紹介します。

案内してくれるのは、前号でも登場した経済学部の学生と、今号が初登場の環境科学部のみなさんです。

文教キャンパス

広々とした敷地は言ってみればひとつの街。学生もいっぱい!

構内には猫もいっぱい。最初はびっくりしました!



竹口彩織さん

4 環境科学部の校舎

「なぜかこの廊下だけが新しい校舎と古い校舎がつながっていて、時空のゆがみのようになってるんです」という場所。確かに近未来的な空間と昭和の香りがひとつつながりになっていて不思議空間に。



5 ウッドデッキ

「食堂の混雑を緩和するために先輩たちが作ってくれたウッドデッキです」「今度はパラスルが欲しいよね」。そばには雑木林もあり、木漏れ日が心地よい。天気の良い日は、ここでランチタイムを楽しめます。



中村真理納さん



「でも省エネ対策ですぐ電気が消えるんですよ。中にいてもじっとしているとセンサーが作動して真っ暗になっちゃうことが...」

「あれはびっくりするよね」と学生たち。悩みの種はお昼時。生協の食堂は一階五百三十席とかなりのキャパシティにもかかわらず、正午ともなればあっという間に長蛇の列になります。若原くんいわく「おかげさでなく、一分一秒を争う。だから学食から一番遠い工学部は不利なんです」。工学部だけ校舎入り口にお弁当販売のブースが出るというのも、さもありなん。ちなみに、文教キャンパスの生協はパンコーナーがかなり充実しており、どれもよく売られています。なんでも食堂の二階がパン工房になっていて、朝七時半から四人がかりで七百個を焼き上げるといふからすごい。学生たちには焼き立てが供されるんですね。

ここでニュース! 二〇二二年七月に文教キャンパスの真ん中に留学生センターや多目的ホールで構成される「学生支援教育施設(仮称)」が建てられるのだとか! 不足しがちなトイレもしっかり完備というから嬉しいですね。日々進化する、文教キャンパスなのです。

路

面電車の電停「長崎大学前」。

ここでは、長崎の他の電停

ではあまり見られない不思議な光景が毎朝繰り返されます。電車から降りてくる学生たちは、見事なほど電停に一列に並んで番号待ちするのです。後続の電車から降りてくる人はわざわざ最後尾まで回り込んで整列。通常、長崎人は、乗るときも降りてからも電停に並ぶということをしませんが、ここから事情を知らない大人が、スイッと割りこむこともしばしば。長大は他県出身の学生が多いからなのでしょう。うか、いつのころからかこの「降りた順」のルールが定着しました。

八つの学部のうち五つの学部が集まる文教キャンパス。一、二年生を対象とした全学教育科目の講義などもこちらで行われるため、通ってくる学生数がとても多い。え、市民が自由に通り抜けできることもあり、常にたくさんの方が行き来しています。まさに「開かれたキャンパス」。

「カエルが異常繁殖してるんですよ。誰か手入れた方が良さそうですね」

「カエルが異常繁殖してるんですよ。誰か手入れた方が良さそうですね」

これがわかれば長大生？ 長大語辞典

【ミーラー】

生協食堂で使える年間利用定期券「ミールカード」。1日利用限度額が最大1100円というお得なカードで、これを持っている（だから比較的食事を贅沢にできる）学生のことをこう呼ぶ。

【フラメ】

正門前のレストラン「フラワーメイト」の略。略すほどに、みんなが通っているということ。

【チャリ再】

自転車（チャリ）再生委員会の略。校内には放置自転車も多く、それを修理し再生するための組織が長大生の手で作られた。

【長大生カット】

文教キャンパス内にある理容店のメニューの一つ。通常のカットより100円安い。

【チューター】

長大独自の制度というわけではないが、留学生の多い大学に見られるシステムで、留学生の学校生活を支えるアドバイザーの呼び名。時間給で謝礼も出るため、バイトとして引き受ける日本人学生も多い。



居ざか屋 モルホン

「『巨人の星サワー』なんて面白いメニューがあるんですよ!」と竹口さんが教えてくれたのがこちらの居酒屋。丸腸の網焼きをつつきながら、わいわい盛り上がりそう。ちなみになぜ巨人? 「オロナミンCを自分で入れて作るカクテルでした」 ☎095-801-5966 営17時～深0時 火曜



E

長崎市内でも最大級の市場、住吉市場。「肉なら〇〇」「野菜はこのおじさんがまけてくれる」と、学生にはなじみの店があるようです。

D マルタマ 住吉店

何でも安いから、夕方になると長大生がよく立ち寄るという老舗スーパー。「お菓子やお酒がよく出ますね。学園祭で使う食材などを大量購入されることもありますよ」とスタッフの小山さん。写真の濱町さんは「私は自宅通学ですが、一人暮らしの友達の家遊びに行くときは、だいたいここで買い物します」。 ☎095-846-1371 営10時～23時 無休 Pあり



F Kitchen Hut (キッチンハット)

かつて若葉町にあった「みなとや食堂」がリニューアルし、復活オープンしたのがこちら。しっかり下味のついた名物の竜田揚げは、ご飯多めの定食で600円～。夜はビールのお供にピッタリの一口竜田(8個350円)がおすすめです。 ☎095-844-2843 営10時～14時OS, 18時～21時半OS 不定休

フラワーメイト

正門の真ん前にあるこちらはもう創業40年! 「チャレンジメニューというのがあって大盛の3倍。僕は以前オムライスに挑戦するために、少しずつ胃を大きくして臨んだことがありました」と榎本くん。20分以内に完食できたらグループ全員デザートサービスなので責任重大。このほかこちらには豚肉が食べられない留学生のための留学生ランチ(680円)などのメニューもあります。

☎095-844-5731 営11時半～深0時 第1,3木曜定休

G

次号では坂本キャンパスを探索します。

清水智康くん



かにも学生街という雰囲気を出しているのが、文教キャンパス周辺。一人暮らし用のアパートや手軽な食堂が点在しています。「自炊したいので住吉市場などで野菜が安く買えるのがとってもありがたい。遅めに行くところまで歩いてくれるんです」と教えてくれたのは竹口さん。学生同士「あそここの店は〇〇が安い」と情報交換することも。文教キャンパスから徒歩三分のマクドナルドは年中、自学している学生で賑わい、まるで第二の学食状態。自由に使えるコンセントが席のあちこちにあるのが面白いですね。昔ながらの安い居酒屋も多く、ある店のマスターは「『学生のころよく来てました』と、社会人になって顔を出してくれる子がいますよ。お母さんになっても顔立ちが変わらない。嬉しいものですね」と、にっこり。街ぐるみで成長を温かく見守っている、そんなハートウォーミングなエリアでした。



「お弁当屋さんに行くのに、ここに横断歩道絶対欲しいです!」と清水くん。使う人が多い割に長大まわりは横断歩道がなかったり信号待ちが長かったりとアクセスに問題ありとか。

長崎大学 文教キャンパス

若葉町電停

美味しい洋食が食べたくなったこのバグダッドカフェ。パーティコースも安く人気です。

最近オープンしたバリ2(バリバリ)は、フランス料理の洒落たお惣菜屋さん。女子学生の間で話題的。

ここにあったファミリーマートが閉店! これは学生の間ではかなりダメージが大きいようです。

長崎はわしの希望じゃ! まっこと、えい街じゃきー!

荒木翔太くん



扇町・住吉界隈 学生にやさしい店や人たちが温かく見守ってくれています

文教キャンパスは一周ほぼ2キロ。周囲をジョギングしてる人も多いですね

高木浩輝くん

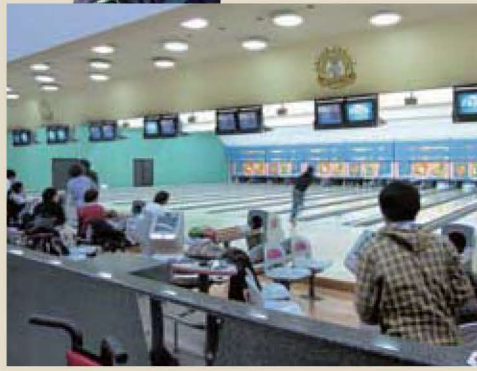


文教キャンパスのサークルセンター、バンド練習ルームから壁一つ隔った場所にあるギターショップを発見! 「弦が切れたから...と買いに来る学生さんもいますよ。音楽教室もやっているので長大生も何人か通ってます」とオーナーの蔵永さん。レッスンは週1回1時間、月8000円～。ギター、ドラム、ウクレレなどマンツーマン。バンド編成も相談にのってくれます。 ☎095-849-6767 営12時～20時 月曜定休

サウンズキヤニオン

長崎ラッキーボウル

44レーンという規模は長崎では最大級。長大生にとっては遊び場として、バイト先として人気のボウリング場。「学生さんも、やはり週末が多いですね。なかにはオールナイトで投げて、格安の早朝料金で朝まで楽しむ方もいますよ」とスタッフの荒木さん。若いって、すごいな! 館内はゲームセンターやビリヤード、カラオケまであり、回遊しながら遊べるしくみになっています。 ☎095-846-2171 営10時～深3時 (土曜、祝前日オールナイト) 無休



長大生のアルバイト2人。「子どもからお年寄りまでお客様の層が広いので、接客の勉強にもなります」と木村くん(右・大学院生)。「バイト学生は50人以上。友達も増えますよ」と藤川くん(工学部)。

B



杉本家のレンガ塀

長崎原爆から65年。被爆遺構はずいぶん姿を消しましたが、爆心地から約1.5kmのこのあたりに今も残るのがこの「杉本家のレンガ塀」。被爆直後は焼野原だった一帯に、ポツンと立っていたもので、被爆後の人探しや被災家屋の確認などの際の目印になったそうです。今も一部が保存されています。



榎本英樹くん